

# 第60回山形県発明くふう展出品票

## 記載例

学校(クラブ)別  
整理番号

ふりがな	かたてでのびちちみ、じたんハンガー			発明協会整理番号
作品名	片手で伸び縮み、時短ハンガー			
ふりがな	つるおか さちこ			
氏名	鶴岡 祥子			
学校名、 発明クラブ名	鶴岡朝暘第十小 学校	庄内 少年少女発明クラブ	学年 5 年	
共同製作者 (2名まで)	ふりがな	学年	ふりがな	学年
	② 氏名	年	③ 氏名	年
<p><b>作品の説明</b> 考案創作の動機(作ったきっかけ、何に使うものか)、作品の特徴(原理やしきみ、従来品との違い、 ◎くふうしたところ)、使用方法(どのように使うか、どのように動かすか)などを記入してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>考案創作の動機</b></p> <p>たくさんの洗濯物を干すと、長い時間がかかります。毎日のことなので、少しでも簡単にしたいと思います。服も何回も洗濯すると傷むので、干すときには無理な力がかからないようにしたいと思います。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>作品の特徴</b></p> <p>ハンガーの幅をボタン1つで伸びたり縮んだりするような、構造を考えました。干すときには狭い首の部分からさっと通し入れることができ、干しているときは普通のハンガーの形、乾いて取り込むときにはパッと縮んで素早く取り込めます。衣服の首を伸ばしてしまう心配もありません。</p> </div> <p>◎特にくふうしたところ</p> <p>伸び縮みにはギアとばねを使いました。動かすボタンは片手で使える位置にしました。ギアとばねにはカバーをつけて、服が汚れたり挟まったりしないよう工夫しました。</p> <p>店に売っていた折り畳みハンガーは、少し力がかかると折れて服が落ちてしまったので、折れない構造を考えました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>使用方法</b></p> <p>洗濯物を干すときは、縮めた形にして首から通します。縮めるときにバネが縮みます。「伸びるボタン」を押すとバネの力で肩の部分が伸び、ギアでカチンと止まり普通のハンガーの形になります。洗濯物が乾いたら、「縮むボタン」を押すとギアが外れ折り曲げることができますように、服の首からハンガー取り出すことができます。</p> </div>				
参 考 資 料	<p>発明くふうの元になった「本」、「ワークキット」、「インターネット(ホームページ、YouTube、他)」などがあれば記入してください。</p> <p>折り畳みハンガー (市販品)</p>			

この出品票は、9月29日、作品と共に展示会場(寒河江市文化センター内 中央公民館)にお持ちください。 ※ 作品に貼り付けずに、そのままお持ちください。